

- 1 会議名 財務常任委員会協議会
- 2 日時 令和4年11月18日(金)
午後2時7分から午後2時21分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 水野忠三 (副委員長) 鬼頭博和
(委員) 梅村均、片岡健一郎、谷平敬子、大野慎治、
黒川武、宮川隆、須藤智子、井上真砂美、
関戸郁文、堀 巖、木村冬樹、榊谷規子
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

(1) 政策提言について

水野委員長：前回意見を出してもらった中で、1番と8番は取り下げられたため現在7件ある。3番と7番についてはホームページでの掲載を辞退され、それ以外を掲載し意見募集をしたところ、ふれ愛タクシー事業について1件の意見があった。この意見の取り扱いについて、何か意見はあるか。

いただいた意見と、提案された課題について、正副委員長での協議の結果、財務常任委員会で扱うよりも、それぞれ総務・産業建設常任委員会と厚生・文教常任委員会に送付したほうがいいとの結論になった。

大野委員：提案者に伺う。塵芥処理費は福祉施策としての提案か。

木村委員：ケアマネージャーやヘルパーからの意見として届いたものなので、福祉的な内容になってくる。厚生・文教常任委員会になるかと考える。

水野委員長：2番、4番、5番、6番は総務・産業建設常任委員会へ、3番、7番、9番は厚生・文教常任委員会へ送付し、各委員会で協議してもらう。

井上委員：総務・産業建設常任委員会及び協議会では、5月頃今年度のテーマを話し合い、商工会や金融関係、農業委員会などと意見交換してきたが、今の段階で送付されてもいつできるか。

水野委員長：各委員会で決めることかと思うが、たとえば、聞き置くとか、来年度検討するとか、いろいろな手法があるかと考える。

宮川委員：改選後の話に聞こえるが、委員会に振るのは改選をまたがってはできないはず。年度内に会合を持ちテーマを決めて、次年度に文書で送ることは可能。

木村委員：これらについては、決算の質疑でやりとりもし、当局側の答弁も得ているが、研究・検討と言われているところはまた予算の時点で聞くなど、そのような形で取り扱えばいいと考える。委員会代表質問とか提言とかは考えられない。市民の強い要望があるわけでもないため、12月議会の後委員会を開き、取り扱いを決めればいいのか。来年度に送る必要はないかと思う。

水野委員長：各委員会の協議会で決めることかと思うので、質疑に活かすとか、一般質問で取り上げるとか、自由に決めればいいと考える。

梅村委員：財務の提案の結論付け部分は何なのか。次の当初予算に対して、予算をつけるべきとか、削減すべきとかの内容が出てきたらまとめるべき。

水野委員長：予算の増減に直接結びつくものは財務で取り扱うべきと考えるが、今回は少しそぐわないと判断した。今後、財務でどういったものを取り上げるべきか皆さんの知恵をいただきたい。

各常任委員会に送付して、そこで取り扱いを決めるということにさせていただく。

(2) その他

特になし。

8 その他

特になし。